

3.1 エラーメッセージ

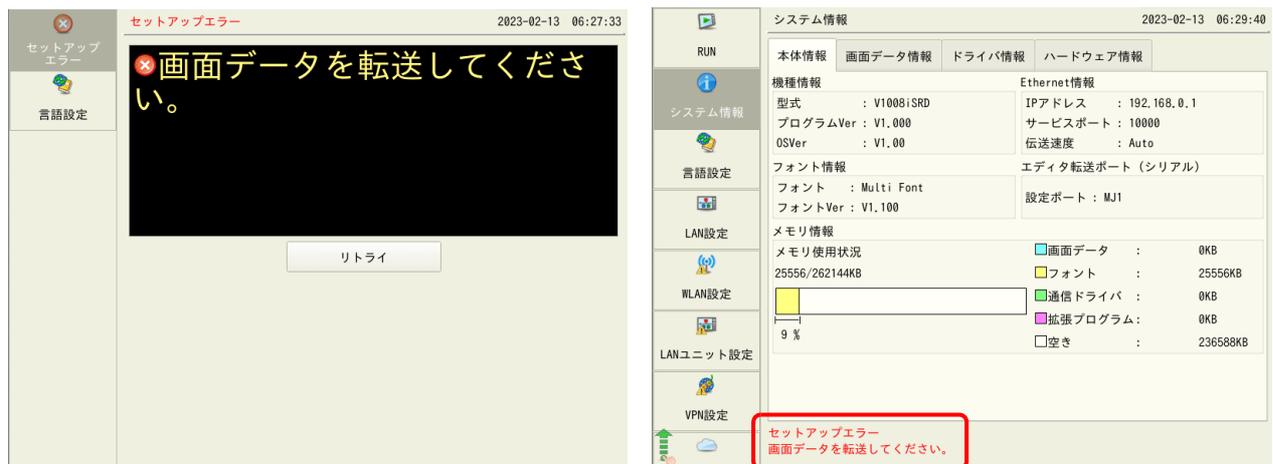
V10 シリーズ上に表示されるエラーメッセージには以下の種類があります。

- セットアップエラー (P 3-1)
- 画面データエラー (P 3-3)
- 通信エラー (P 3-7)
- Warning (P 3-9)

3.1.1 セットアップエラー

画面データが存在しない場合や本体プログラムが転送されていない場合、V10 シリーズ上に以下のようなメッセージを表示します。エラーメッセージに従って、エラーを解消してください。

[リトライ] スイッチを押下すると、RUN モードへ切り替わります。



* [ローカル画面] にもエラーが表示されます。

エラーメッセージ

内容	対処方法
画面データを転送してください。	画面データを転送してください。
本体プログラムを転送してください。(safe mode)	エディタまたはストレージから本体プログラム (V10Series.prg) のみを転送してください。 [システムのアップデート] や [全てを選択] は受け付けません。
スクリーン No. 異常	<ul style="list-style-type: none"> • [読込エリア] n+2 に、表示したいスクリーン No を設定してください。 [読込エリア] n+2 のデバイスは、ローカル画面の [システム情報] → [画面データ情報] → [表示スクリーンデバイス] で確認できます。 • 起動時のスクリーン No が固定の場合は、エディタの [読込/書込エリア] → 「初期スクリーン」を設定し、画面データを転送してください。
システム情報に異常があります。	画面データを再転送してください。
表示器が異なります。	編集機種を確認し、画面データを転送してください。
選択された PLC 機種はサポートされていません。	PLC の機種を確認し、画面データを転送してください。
データのバージョンと本体プログラムのバージョンが合っていません。	エディタから本体プログラムを転送してください。 直らない場合は、エディタのバージョンと V10 シリーズの本体プログラムバージョンを確認後、技術相談窓口までご連絡ください。
通信 I/F ユニットが未装着か、通信 I/F ユニットと I/F ドライバが一致していません。	通信 I/F ユニートを装着してください。 再度 I/F ドライバを転送してください。
I/F ドライバと画面データの PLC 機種が合っていません。	PLC の機種を確認し、画面データ、または I/F ドライバを転送してください。
PLCn の I/F ドライバと画面データのバージョンが合っていません。	エディタのバージョンと I/F ドライバのバージョンを確認後、技術相談窓口までご連絡ください。
シミュレータプログラムと画面データのバージョンが合っていません。	
PLCn の I/F ドライバと本体プログラムのバージョンが合っていません。	I/F ドライバのバージョンと V10 シリーズの本体プログラムバージョンを確認後、技術相談窓口までご連絡ください。

3. エラー

内容	対処方法
シミュレータプログラムと本体プログラムのバージョンが合っていません。	I/F ドライバのバージョンと V10 シリーズの本体プログラムバージョンを確認後、技術相談窓口までご連絡ください。
本体の表示言語と画面データの言語が一致していません。	本体機種と作成データの言語を確認後、再設定してください。
ロギングサーバーの最大容量を超えています。	ロギングサーバー設定の内部記憶設定 [DRAM] の容量が最大容量を超えています。 [保存データ数] を減らしてください。
モジュージャック 1 と 2 が同じ機能設定になっています。	[ハードウェア設定] を確認後、再設定してください。
グラフィック未定義コマンドエラー	技術相談窓口までご連絡ください。
スイッチ機能エラー	
汎用シリアル：システムデバイス設定エラーです。	マクロの間接指定などで、範囲外のデバイスにアクセスしていないか確認してください。
ネットワーク I/O サイズ設定エラー	技術相談窓口までご連絡ください。
マルチリンク 2 の局番異常です。自局番または総数の値が 1～4 を超えています。	マルチリンク 2 の詳細設定で、[自局番] または [総数] の値を 1～4 に設定してください。
マルチリンク 2(Ethernet) の局番異常です。自局番の値が、総数の値 (最大 32) を超えています。	マルチリンク 2 (Ethernet) の詳細設定で、[自局番] または [総数] の値を 1～32 に設定してください。
I/F ドライバの Ethernet ポート No の値が重複しています。	他の I/F ドライバのポート No. と異なる値に設定してください。
本体の I/F ドライバと本体プログラムのバージョンが合っていません。	本体プログラムのバージョンが接続機器の対応バージョンかどうかを確認し、本体プログラムのバージョンアップをしてください。
PLCn の I/F ドライバを転送してください。	I/F ドライバを転送してください。 または、アイテムのデバイスを確認してください。
シミュレータプログラムを転送してください。	
FROM のデータが未登録です。	<ul style="list-style-type: none"> ・ [システム設定] → [本体設定] → [環境設定] で「内部フラッシュロムをバックアップ領域として使用する」に設定しているのに default.dtm ファイルが転送されていません。 ・ [ハードウェア設定] → [通信設定] で「局番テーブルを使用する」に設定しているのに局番テーブルがありません。 局番テーブルを使用する場合、局番テーブルを使用しない場合と比べて、ローカル画面の拡張プログラム容量が 66 KB 少なくなります。確認してください。 局番テーブルを使用する / 使用しない どちらも同じ容量の場合、技術相談窓口までご連絡ください。
シリアルポートに設定している機能が重複しています。	<p>Error : 166 (ヘッダ : x)</p> <p style="margin-left: 2em;">└ 項目内 No.</p> <p>項目内 No. が以下の意味になります。</p> <p>0 : CN1 1 : MJ1 2 : MJ2</p> <p>ポートに重複した機能 (シミュレータ等) を設定しないようにしてください。</p>
接続機器設定でラダー転送機能が設定されていますが、通信設定の接続形式が 1:1 以外に設定されています。	ラダー転送機能は 1 : 1 のみ対応です。 ラダー転送を行わない場合は、[ラダー転送を使用する] のチェックを外してください。 ラダー転送を行う場合は [通信設定] の [接続形式] を [1 : 1] にしてください。
本体はラダー通信機能をサポートしていません。	技術相談窓口までご連絡ください。
カスタムプログラムが未登録です。	
本体に日本語変換プログラムが未登録です。	日本語変換プログラムを転送してください。
タッチパネルが接続されていません。	技術相談窓口までご連絡ください。
アラームサーバーの最大容量を超えています。	アラームサーバー設定の内部記憶設定 [DRAM] の容量が最大容量を超えています。 [監視アラーム数] [保存データ数] を減らしてください。
ビデオ / RGB-IN ユニットが装着されていません。	ビデオ / RGB-IN ユニートを装着してください。
OS がカスタムプログラムをサポートしていません。	技術相談窓口までご連絡ください。